

地域バイオプロセスの構築に向けた 技術課題抽出と技術開発戦略提案の ためのWG活動を開始します。



産学官生物変換技術の研究開発者・企画担当者の皆様へ

- 地域未利用資源を活用するバイオプロセスの可能性はもっと大きいはずです。
- 例えば、食のみならず非食にも変換できれば、産業の幅が大きく広がります。
- しかし、現在の資源変換バイオプロセスは、大規模製造時にしか使えません。
- 地域で小規模バイオプロセスが成立するためのブレイクスルーとは？
- 発酵産業の強みを生かし、めざすべき「日本型バイオエコノミー」とは？
- 本WGでは、事務局側が技術課題を整理してMLを通じて提供します。
- 皆様からもMLを通じて情報・御意見を頂き、2019年春の戦略策定に繋がります。

ご賛同頂ける方は、

ML登録用メールアドレス：

bioprocess (@) ml.affrc.go.jp へ

ご連絡ください。 * @の両側の () を外してください。

事務局代表 農研機構食品研究部門 食品生物機能開発研究領域
生物資源変換ユニット 徳安 健

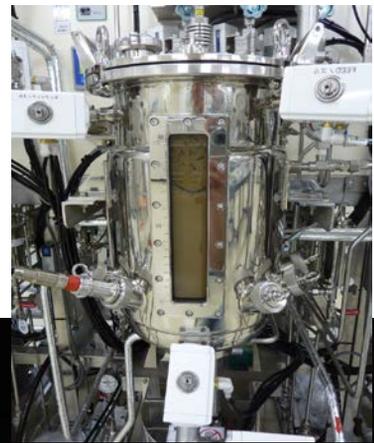
(お問い合わせは上記のML登録用メールアドレスへ。)

第一期活動期間：2017年3月～2019年2月予定。

(ML登録受付：2017年2月16日～、会費無料。)



注：WG：ワーキンググループ、ML：メーリングリスト



活動の目的

農林水産業、食品産業等の現場で生産される地域未利用資源は、品質が安定し、纏まった量が確保できる場合には、バイオプロセスを活用して高付加価値化できる可能性をもつ。しかしながら、このような「地域バイオプロセス」は、伝統的な発酵食品・酒類製造現場で使用されているのみであり、地域未利用資源のもつ潜在性を小規模の食・非食製品製造に生かすための革新技術基盤を提供できていない。そこで、本WGでは、地域未利用資源をバイオプロセスによって高付加価値化するため、必要となる技術開発要素を整理し、共通性の高い基盤技術の開発、地域産業や地産地消の場との関係が深い革新的製造技術の開発等を推進するための技術開発戦略を構築・提案する。

活動の概要

本WGは、主に事務局が管理・運営するML上での情報提供、情報交換、討議、意見集約等を通じて活動。第一期期間では、地域資源及びバイオプロセスに係る現状・技術的課題の調査を実施し、農研機構食品研究部門において、「地域バイオプロセス構築に向けた技術的課題と新技術開発戦略（仮題）」を策定し、各方面に働きかけることで、地域バイオプロセス構築に向けた取組を活性化。

参加範囲

公設試験研究機関、自治体関係者、国立研究機関関係者、大学関係者、企業関係者、行政関係者、財団法人関係者等



参加登録方法・注意点

ML登録用メールアドレス (bioprocess(@)ml.affrc.go.jp) へのメッセージ表題に、「入会希望」と記し、文面として、①御名前、②御所属機関名、③御所属部署名、④御住所、⑤御電話番号、⑥FAX番号、⑦メールアドレスを記載して御送信ください。事務局によりML登録作業を行い返信します。* @の両側の () を外してください。

- ・この情報は事務局が厳重に管理し、ML内での連絡と管理のために使用します。（なお、御所属機関と御名前は公開情報扱いとします。）
- ・特定者の中傷、趣旨から逸脱した投稿等、ML運営上の支障を来す行為が確認された場合、MLシステムに重大な問題が生じた場合などに、投稿内容・メンバー登録を消去・抹消することがあります。
- ・MLを通じたコンピューターウイルスによる被害についての責任は、原因となるメッセージをMLに投稿した者に帰することとします。
- ・ML上に投稿された技術情報については、投稿者が発信した公開情報として扱うとともに、適宜、事務局による戦略の取り纏め作業及び地域バイオプロセス構築に向けた各種取組に活用します。
- ・ML退会時には、表題「退会希望」のメッセージを上記メールアドレスにお送り下さい。

その他ご不明な点がございましたら、事務局にお問い合わせください。